

第 139 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 28 年 12 月 22 日（木） 13：30～15：13

場 所：浜田公民館第 3 研修室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 佐々木課長 森脇課長 岡田室長 山根課長

島田館長 長見所長 渡邊課長（代：山本係長）村瀧室長

大崎分室長 栗栖分室長 森下分室長 吉野分室長

書記：小林係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 第 1 回総合教育会議の議題について（資料 1）
- (2) 公民館職員の選任について（資料 2）
- (3) 教育長の職務に専念する義務の免除の承認について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) 浜田市行財政改革実施計画について（資料 10）
- (2) 浜田市 PTA 連合会と教育委員との意見交換会日程について

1 教育長報告

石本教育長

委員方においては昨日に引き続きご出席いただきありがとうございます。今年最後の定例会だが、よろしく願いしたい。

各小学校・中学校では今日 2 学期の終業式が行われる。2 学期、学校にとっては色々行事の多い学期で、先生方も、児童生徒も大変だったかなという気がするが、そういった学校行事を一つひとつ乗り越える中で子どもたちは成長していくのだろうと思っている。

今年最後の定例会だということを申したが、実は浜田市では 1 月の広報に 1 年の出来事といったことが掲載される。その原稿が回ってきており、この中で教育委員会に関係することはどれくらいあるのか見ていたが、1 月 16 日に故石本正先生を偲ぶ会が開催されている。これは三隅の中央会館で開催した。

4 月に入ってから旭小学校の開校の記事が出ている。それに合わせて 3 月の末で今市小学校の閉校。5 月 29 日には旭小学校で

土俵開きがあり、その時に武蔵川親方、元横綱の武蔵丸が来られて土俵開きをされた。こういったことがここに載っている。

28年度の教育委員会の大きなイベントということになると全国高校総合体育大会の体操競技が県立体育館で行われたことだと思う。高校生たちがボランティアでよく仕事を手伝ってくれたということがあり、全国各地からお礼の手紙が来たということは本当に地元の者として嬉しく思ったところである。浜田はあのような大会を運営する力がまだまだあるんだなという様な気がして、ぜひこれを平成30年の中学校の全国大会、体操であるがこれに繋げていかななくてはならないと強く思ったところである。

10月の終わりには弥栄小学校の体育館が竣工している。日程等の都合で結局竣工式ができなかったが、すでに子どもたちは新しい体育館で色々な教育活動を続けている。

11月に入って浜田市世界こども美術館が開館20周年ということで記念式典を開催した。

そういった様なところが平成28年の浜田市の主な出来事として教育関係で挙がってきたところである。1年を通じて委員方には色々と教育委員会のご指導をいただき、教育推進にご尽力いただいた。改めてお礼を申し上げます。1年ありがとうございました。

① 11月25日（金）第31回島根県キャリア教育研究大会浜田大会（金城中学校・他）

第31回島根県キャリア教育研究大会浜田大会が金城中学校を中心に金城自治区、それから旭自治区の小中学校で開催された。午前中に公開授業、午後から開会式、記念講演があった。記念講演では文部科学省の長田調査官という方が来られて話をされた。浜田のキャリア教育は今全教科の領域でキャリア教育の視点を持った取組をしているが、長田調査官の話の中でも今後は教科横断という様なことがキーワードになるといったお話をされた。浜田が進めている方向性と、全国的にキャリア教育が進められる方向性が同じであると感じたところである。

この研究会は小学校で公開授業がされるのは今回が初めてだということである。今まで中学校だけでされていたが、それが初めてされたので、良い手本となってこれからはどんどん小学校でも公開授業をしていっていただきたいと会長が話をされていた。

31 回ということなので昔は毎年あったのだろうが、このところは3年に1回の開催だということで、次浜田に回ってくるのは当分先だと思う。

② 11月26日(土)平成28年度浜田市男女共同参画講演会(浜田公民館)

浜田公民館で浜田市男女共同参画講演会があった。「夫源病～もっと楽にやっていける夫婦関係～」ということで、大阪樟蔭女子大学教授の石蔵先生がお話をされた。妻の病気の原因の8割は夫にあるといった様な話や、なぜ妻は夫のやることなすこと気に入らないのかといった話をされ、女性にとっては大変楽しいというか、女性からは絶賛される話だったが、男性にとっては肩身の狭い話であった。全国各地から引っ張りだこで、あちこちで講演会をされている先生だそうである。前日から来ておられたが、朝早く釣りに行ってそれから講演会に臨まれた。朝、さびきでアジゴを15匹釣ったと話されていたが、そのような話も楽しくされていた。また浜田に来たいと言っておられたので、何かの時には声をかけてあげたらと思う。

③ 11月27日(日)浜田市学校保健会講演会(県大コンベンションホール)

浜田市学校保健会講演会が県大コンベンションホールで開催された。毎年1回この時期に開催されている。今年は島根大学医学部の内尾先生が「学校における運動器検診の課題について」という話をされた。

今年度から学校の健康診断の必須項目の中に運動器の検診というのが新たに加わったということである。色覚についても新たに加わっているが、これは浜田については先行して数年前からやっているのだから、運動器の検診について制度で必須になったため今年度から取組をしているということである。具体的にどういった検診なのか、またどういった課題があるのか、そういったことをお話しいただいた。背骨や腰、腕や足、そういったところの部位が正しく機能しているかといったことをチェックするのが大事だという検診で、異常を早期に発見することが目的である。

今の児童生徒の様子も話されて、運動不足による体力、運動能力の低下ということが都会を中心にあるといったこと、逆に運動のし過ぎでスポーツ障害を起こしている子どももかなり

いるといったお話もされていた。

④ 11月29日（火）第1回島根県立浜田高等学校における中高一貫教育を考える会（市役所4階講堂）

第1回島根県立浜田高等学校における中高一貫教育を考える会が発足して、第1回の会議が開催された。第2回も12月19日に開催されている。

これはいわゆる市民の中で中高一貫教育を考えようということで立ち上がった勉強するグループというふうに考えていただけたらと思う。以前松原小学校の校長先生で退職をされて、浜田市の校長会の会長もされていた岩迫元校長先生が発起人代表ということである。浜高の同窓会、PTA、経済界の方々、それから学校の先生方も入って中高一貫について勉強するといった様な会議である。何回か会議をされて、その後期成同盟会の様なものを立ち上げて、市に対して要望をする、そういった様なことを考えている。期成同盟会から市議会に要望があれば、それを以て県に要望をしていくといった流れになるのだろうと思っている。そういった会が発足されている。現段階ではあくまでも民間の方々が行われている組織である。そこに色々な説明に行ったり、簡単な事務局的なことも教育委員会でやってほしいということで学校教育課が関わって進めているところである。

⑤ 12月1日（木）定例校長会（中央図書館）

12月1日に校長会が行われた。先月の定例会の時に宇津委員から全国各地でいじめによる自死が起きている、浜田の小中学校でもその辺もう一度しっかり見直して、という話があったので、校長会でその旨話をした。各学校で計画されている未然防止の対策や早期発見、早期対応の流れ、そういったものを各学校でもう一度点検をしてください、教職員で徹底してください、といった話をしたところである。

その後12月13日、14日に島根県の学力調査が行われるということが分かっていたので、児童生徒への指導として「最後まで絶対に諦めるな、問題に食いついていくようにということを必ず徹底してください」ということをお願いした。最後まで頑張ると2点、3点は必ず違うという様な話をした。もう終わっているのに、結果が2月頃に返ってくるが、楽しみにしておきたいと思う。

今話したが 12 月 13 日、14 日に島根県の学力調査が行われたところである。

⑥ 12 月 2 日～20 日（金～火）浜田市議会定例会（議場 他）

12 月に入って議会が始まり、資料にある様な日程で進めた。個人一般質問等の内容については後ほど部長から話がある。

⑦ 12 月 11 日（土）第 25 回浜田一益田間駅伝競走大会〈しおかぜ駅伝〉

しおかぜ駅伝が行われた。今年度は選手が揃っており、旧浜田チームは優勝すると、新聞でも浜田が一步リードと前評判が高かったのでいけるかなと思っていたが、体調の悪い選手が数名いて、前半の貯金が十分できなかったということで、後半で逆転されて 2 位になったということであった。3 位、2 位ときているので、来年は必ず優勝という予定だそうである。

⑧ 12 月 16 日（金）浜田市公立幼稚園連合 PTA 要望（教育委員室）

浜田市公立幼稚園連合 PTA 要望があった。毎年要望に来られるが、今年は要望の内容としては公立幼稚園の存続をお願いしたい、ということ。石見幼稚園と原井幼稚園が統合して新園になるということは方向性として示されているが、段々園児が減ってきているのでそのうち 1 つに統合されて最後にはなくなるのではないか、そういった危惧を持っておられ、公立幼稚園はぜひ堅持をしてほしいという様な内容の要望があった。

それと今水曜日は園児は午前中で帰っている。普通の日には 2 時までなのになぜなのか、水曜日にも 2 時までにはできないのかといった要望があった。色々と先輩の方にも聞いたが大昔から水曜日は午前中だったということで、どうい理由でそうなったのかははっきり分かっていない。子どもの体力、そういうものを考えて真ん中のところで半ドンにするかといった様なことになったのかという気がしている。2 時までにならないかという要望が保護者から出たということであった。

また、2 時から夕方までの預かり保育についてもぜひ検討してほしいということで、全国の公立幼稚園では 2 年前くらいの調査で 65% くらいの幼稚園で預かり保育の実施をしているという実績があった。県内でも他市ではほとんどの幼稚園で預かり保育をしているので、これは新園の建設と合わせて検討すると、前から内部的な方針にはあったが、このことについても前向きに検討する時期に来ていると思う。

給食をぜひしてほしいという様な要望も出ていた。

今、長浜幼稚園と美川幼稚園で異年齢の混合クラスについて、年中と年長を一緒に保育するといったクラスがある。これは2つの学年を合わせて25人以下の場合には一緒にするといった規定がある。これは浜田市が作った規定なので変更は可能なわけだが、25人という枠をせめて20人くらいに下げてもらえないかといった様な要望があった。これについても検討するといった返事をしているが、中々実際難しいかなという気がしている。

それから、自然体験活動を補助金を出して各幼稚園でもしていただいている。そこへ行くのにスクールバスを使ってもらっているが、年に2回という制約があり、これももっと回数を増やしてほしいといった様なことが今回の要望の中身であった。

それぞれもう少し事務局で対応等を検討して文書で回答をするということにしている。

⑨ 12月20日(火) 第3回浜田市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式(中央図書館)

第3回浜田市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式を行った。昨年度よりも多少数は少なかったが、3回目ということで年々レベルが上がってきているといった講評があったところである。

⑩ 12月21日(水) 平成28年度浜田市人権作品コンクール表彰式(市役所4階講堂)

平成28年度浜田市人権作品コンクール表彰式があった。毎年子どもたちの作文の発表の時に感無量というか涙ぐむことが多いが、今年は6年生の女の子が、お兄さんが障がいを持っていて、その兄に対する思いの作文を読んでもらった。本当に素直な気持ちが書いてあると思い、やはりまた涙が止まらなかった。中々良かった。

1か月間の報告は以上である。今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

宇津委員

学力調査の結果は2月頃ということだが、自己採点はどの程度進めているのか、そういう指示を出しているのか。

岡田室長

自己採点は県の学力調査はしていない。全国は県から指示があ

るのでしている。

石本教育長 全国は4月に学力調査を行って、返ってくるのが7月であったりしてすごく時間がかかるので、早めにはしなくてはならないということがあり自己採点を行っているが、県の調査については12月に行って1月の終わり頃には早ければ来る。その期間が短いので自己採点は特に行っていない。

金本委員 県の学力調査だが、問題そのものにミスが多かったということだ。だいたい学校現場も混乱されていた様だ。県がどういうシステムでそれを採用されているのか、チェック体制がどの様になっているかは分からないが、こういうことを県に意見を上げるという機会はあるのか。

岡田室長 機会はある。学校での色々な不手際があったことについては既に報告をしている。この会社を選ぶ一番の県の理由は、オリジナルの問題を作りたいということで、全国学力調査の対策が島根県として取れる様なオリジナル問題を現在の予算で作ってくれるところがこの会社しかなかったということである。しかし大変ミスが多かった。

金本委員 初歩的なミスが多かったように聞いている。

岡田室長 昨年も同じ会社だったがこういったことはなく、なぜ2年目にこうなったのかがよく分からない。

金本委員 特に小学校3年生が初めてのテストなので、そこを直せと言われたら余計混乱する。テストを受ける以前の問題である。

岡田室長 本当に混乱して現場は大変だったと思う。

金本委員 県によく言っておいてほしい。

石本教育長 全県下の問題だったため、県教委はあちこちから苦情が入った様ですぐにお詫びの文書が教育委員会には来た。大変ご迷惑をおかけしたということで、学校にももちろんその通知を流したが、そういったことが県からもあった。

業者も来年また受けられるか分からないということで心配しているだろうが、滅多にあることではないと思うが起きてしまったことは事実である。

金本委員 県側で事前に出来上がった問題をチェックはできないのか。

岡田室長 県が出来上がった問題をどうされていたかまでは分からないが県でチェックをして出した指示と、また違って元に戻っているものがあったりしたので、どの部分がどこの責任なのかがまだはっきりと分からない。

金本委員
石本教育長
各委員

なるべくミスのない問題を出してほしいと思う。
また伝えておく。
その他はよろしいか。
特になし。

2 議題

(1) 第1回総合教育会議の議題について（資料1）

石本教育長
藤本委員

今年度の第1回総合教育会議の議題についてということである。先月の定例会でもこのお話をさせていただき、それぞれどういったことにすれば良いか考えてきてもらいたいという話をしていた。

こういった形で進めたらいいというようなご提案はあるか。

事前に資料を送っていただいて内容は分かっているが、①から③まで1つの例として書いていただいているが、教育委員会からのテーマということになるとこれだけで時間が終わってしまうのかということが気になる。市長の思いに添うことができるのかなと思う。

③のそれぞれの思いを出し合うというところで、学校現場に、教室にエアコンを設置したらどうかという様な意見も出ていた。そういったところについて私なりにある程度調査したので、そういったところも市長にご提言ではないが申し上げるのも必要ではないかと思う。

私は①と③の両方を考えていたが、先ほど言ったようにそれは市長に失礼だろうと、市長のご意向も当然お伺いしてそれに対して意見交換をするということのも大事ではないかと思い、色々と二転三転したわけだが、市長のご意向というものを尊重しなくてはならないという気持ちになった。

石本教育長
金本委員

金本委員はどうか。

私は50/50というか、①と②の市長からの意見と教育委員会側からの意見を両方大きなテーマを1つずつ出して時間の許す限り話し合えたらと思う。

石本教育長
宇津委員

教育委員会からのテーマとして何かあればまた言ってほしい。

テーマが大きすぎるかとは思っているが、浜田市のメインのテーマというのが「住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい元気な浜田」というものである。市長は就任以来、随所で「元気な浜田」と機会のあるごとに言っておられる。「元気な浜田」と我々

教育に携わるものの、教育との在り方というか。そこの辺りを市長に聞いてみたい。具体的に学校の現場、あるいは社会教育の現場でどのような取組を想定して「元気な浜田」を作ろうとしているのか聞いてみたい。

石本教育長
花田委員

花田委員はどうか。

金本委員も言われた様に、市長もこちらに聞いてみたいこともあると思うのでそれも聞いていただければと思う。それと宇津委員が言われた「元気な浜田」と絡むと思うが、私としては今年から入ってきた家庭教育についてどのようにお考えかということ意見を交換してみたいと思う。

石本教育長

私は、市長が教育の中で今一番やりたいと思っていることが、教育は教育だが、いわゆる教育委員会が管轄している小中ということよりも中高一貫の話が一番本気で進めようとしているので、その辺のところは市長の思いを私たちは聞く機会があるが中々委員方は直接お話を聞かれる機会がないので、その辺のところは少しお話をさせていただいておいた方が良いのかなという気がしている。

当然市長から話をさせていただいて、教育委員会からも何らかの議題を挙げて、2つ挙げて最後は当然何でもいから教育に関する意見交換をして話が終わるのかなと思う。1時間半か長くて2時間の会議なので、そんなにたくさんの項目を話すことができないかと思うが、委員方の話を聞くとやはり流れとしては市長の出されたテーマについてみんなで意見交換をする。また教育委員会からテーマを出してそれについて意見交換をする。最後時間が残っているところで何でもいいので教育に関して意見交換をするといった流れに必然的になるかと思うが、そういった流れでよろしいか。

各委員
石本教育長

良い。

それでは教育委員会として何をテーマにするか。市長からはおそらく中高一貫教育についてやりたいと言われることはたぶん間違いないと思うので、教育委員会からさっき出た中では藤本委員から学校のエアコンの設置について、宇津委員からは「元気な浜田」と市長は言われるが教育の場面ではどういったことを想定されているのか、どういった形で「元気な浜田」を教育の場では作り上げていくのか、花田委員からは家庭教育に対する市長の思い、そういったものを聞いてみたいという様な話があった。

小林係長

1本に別に絞らなくてもいいと思うが、絞らないと難しいか。
答えを見出さないのであれば複数の意見で挙げておいて、行ったり来たりしてもいいかと思う。決めてしまったり、双方で合意をするということであれば多岐にわたり時間がかかるのではないかと思う。

石本教育長

結論を出すような会議とは今回は違うので、お互いに意見を言い合っただけでどういった思いを持っているか分かれば良いといった中身の会議に今回はなると思う。

それでは先ほど言われた様なことを、委員方が市長と意見交換をしたい項目であると何点か挙げさせていただいて、それで調整する。

小林係長

承知した。

石本教育長

そういった形でよろしいか。

各委員

全会一致で承認

石本教育長

それでは事務局で調整をして事前に市長と話を詰めておく。

実は社会教育委員の会からも市長と懇談会をしたいという要望が挙がっており、特にその中で市長の家庭教育に対する思いがどういうものなのか、今社会教育委員の方々も1年間家庭教育について取り組んで研究しているので、その中で市長がどういった思いなのかを知りたいという意見をいただいている。

そこでも家庭教育の話をされるし、この中でも話をされれば市長の思いが分かるかという気はしている。

今いただいた様な意見を基に調整をするので、次回お知らせする。時期的には2月頃になるか。

小林係長

議会前になるので2月くらいになると思う。

石本教育長

最終的に決まったことを1月の定例会の時にお示しするというので良いか。

小林係長

良い。

(2) 公民館職員の選任について (資料2)

山根課長

公民館主事の退職に伴う選任を求めるもので、2名である。

1件目は、三保公民館の山田多恵子主事が11月30日付で退職された。そちらの補充ということで岩下典枝さん、任期が12月1日から平成29年3月31日だが、選任手続きについては先月の定例会後にしているため、事後承認という形になるが、よろしくお願ひしたい。

2件目が、三隅公民館の吉野茂美主事が11月30日付で退職された。そのことに伴い今回中山美千代さんの平成29年1月1日から3月31日までの任命を求めるものである。

岩下さんについては39歳で三隅町にお住まいである。以前教育委員会にもALTの担当ということで勤務していただいていたということもあり、特に英語関係の会社等に長く勤めておられたということである。

中山さんについては55歳になられて、お住まいは治和町である。民間にもおられたが、近年は官公庁、市役所の三隅支所にも臨時職員として勤務しておられたという経緯がある。

以上、よろしくお願ひしたい。

石本教育長

ただいま2人の主事の任命について説明があった。それぞれ年齢や経歴についても簡単に説明していただいたが、退職した2人はそれぞれ自己都合での退職か。

山根課長

そうである。

石本教育長

今説明があったが、質問等はあるか。

各委員

特になし。

石本教育長

それでは三保公民館の主事に岩下典枝さん、三隅公民館の主事に中山美千代さん。この2名を任命するということで了解をさせていただくということによろしいか。

各委員

全会一致で承認

石本教育長

それでは了解いただいたので、選任の手続きを進めたいと思う。

(3) 教育長の職務に専念する義務の免除の承認について (資料3)

小林係長

平成27年度の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正施行に伴い、いわゆる新教育長の設置に伴い、諸々の規定が改正となり新設をされた。この一環の中で教育長には職務に専念する義務というものが義務付けられているが、その免除については任命者である市長が承認あるいは否認を行うことと法制的にはなっているが、浜田市においてはその権限を教育委員会に委任するという仕組みになっており、今回改めて教育委員会の中で諮って職務免除の承認あるいは否認をしていただくということになるのでよろしくお願ひしたい。

中身については人間ドックということである。健康増進を図るという目的のために必要なものということで、これについては実

	<p>際に規則上でも項目に入っているものである。</p> <p>日時としては平成 29 年 1 月 16 日（月）の 1 日ということになる。</p>
石本教育長	<p>事務局から説明があったとおりである。毎年人間ドックを受けさせていただいている。ぜひ行かせていただければと思うがよろしいか。</p>
各委員	<p>良い。</p>
石本教育長	<p>ありがとうございます。それでは承認をいただいたということによろしいか。</p>
各委員	<p>全会一致で承認</p>

3 部長・課長等報告事項

山本部長	<p>平成 28 年 12 月市議会定例会 個人一般質問一覧（資料 4）</p> <p>12 月議会の個人一般質問についてである。答弁書は資料の後ろに付いているので、また見ていただけたらと思う。</p> <p>この度は一般質問を 21 名の議員が出され、教育委員会関係が 13 名であった。それから再質問が 2 名あった。合計 15 名の方から質問があった。</p> <p>段々と教育委員会への質問が増えているのではないかという気がしている。全体的には歴史資料館の話がかなり挙がっており、議会でだいぶ議論がされている。</p> <p>中身的にどんな質問があったかということだけ申し上げる。</p> <p>最初に澁谷議員、8 番 9 番の奨学金の拡充、それから小中学校の教室へのクーラー設置についての問題。</p> <p>佐々木議員、いじめ防止の取組について。同じく小川議員、いじめ・不登校のない教育環境ということで、2 名の方からいじめの質問があった。小川議員は子どもさんが中学生ということでかなり深い内容の質問だった。</p> <p>2 ページ目で道下議員、2（1）通学路の見守り隊増強について、それから 3（1）学力向上について質問があった。</p> <p>岡本議員、幼保小中高の一貫したキャリア教育の推進について質問があった。</p> <p>原田議員、各地に眠る文化遺産の検証について、笹田議員、中学校における社会体育と部活動について、芦谷議員、歴史・文化の伝承と創造するまちづくりの推進について質問があった。</p>
------	--

布施議員からは、再質問で、歴史館の建設に合わせてこども美術館で神楽を上演できないかといった質問があった。

牛尾議員、教育施設の統合計画ということで、学校統合と幼稚園の統合について質問があった。

串崎議員、若者の米離れについてということで、学校給食、地元食材の食育について質問があった。

足立議員が再質問で、整備した歴史館の具体的な内容ということで、歴史館を建設したら他のこども美術館等へ行く子どもが減るなど、影響があるのではないかという質問があった。

森谷議員、7の落石危険道路について（二中、雲雀丘小近辺の）という質問、15の図書館についてということで、9月に引き続き図書館の選書会議について質問があった。これは時間切れということで次回に繰り越しということになった。

5ページ、岡野議員は、歴史文化・民族資料についてアーカイブ機能の強化、それから長浜人形の収集・保存について質問があった。

最後に柳楽議員が、引きこもりの支援ということで青サポの質問があった。

以上である。後ろに答弁書があるのでまたご覧いただきたい。

佐々木課長

行事等予定表（資料5）

今後の行事等予定表である。ご承知の様に年内は市役所仕事納めが28日、1月4日が仕事始めになる。この間1月3日、今年から1月3日に全市統一の成人式が予定されている。これについては委員方にご案内している。

1月4日には市民新年賀会。他に主なもので15日（日）に恒例の浜田市駅伝競走大会が美川地区で行われる。

また、PTA連合会と教育委員との意見交換会を20日（金）に予定している。その他の行事等載せているのでまたご覧いただければと思う。

石本教育長
森脇課長

書初め展のご案内も行っているはずである。

請願の対応経過について（資料6）

請願の対応経過についてということで、この前の議会においても森谷議員から一般質問で質問があったりしたので、経過を報告させていただく。

3つの案件について請願があった。

まず1件目が金城町七条新開の通学路の整備に関する陳情ということで、6月15日に陳情者、森谷さんから陳情いただき、これについては6月27日に回答し、議会にも報告したが、11月30日に今度は陳情者が間野さん、伊藤さんという方から請願があった。紹介議員が森谷議員だったが、これについては経過書の中では金城支所に照会中ということになっているが本日回答をしたところである。内容については後ほど説明させていただきます。

次に2件目だが、西村町の通学路に街灯を設置する陳情があった。これも8月30日に陳情者、國分さんという方から陳情があり、紹介議員が森谷議員だったが、同じ陳情が11月30日に今度は違う陳情者からあった。これについても12月7日に回答したところである。

もう1件、雲雀丘小学校「落石注意」通学路安全確保についてということで11月21日に陳情があった。こちらについては12月13日に回答している。

中身の話だが、資料を1枚めくっていただいて、金城町七条新開の通学路の整備の請願ということだが、新開地区で通学路の細いところとか水路が設置されていないというところの2つの路線について、七条22号線の幅員の確保ということであった。これについては金城支所に照会をかけて計画的に進めるといって回答を得ているので、そちらを回答したところである。

また、七条22号線の側溝の整備についてということであったので、こちらについても次の回答書にある様に側溝整備工事を計画的に行うということに回答したところである。

次に西村町の通学路に街灯を設置する請願についてである。2枚目をめくっていただくと西村町の石見交通の営業所の先のところだが、こちらに約600mに亘って街灯等が一切なく、この時分であると6時くらいになると真っ暗になり、部活が終わった三中の生徒が通る時に危険ではないかということで、対策が必要であるという陳情であった。これについては浜田市通学路安全推進会議というものを設けており、国土交通省と話をさせていただいたが、中々国土交通省は、例えば交差点とか交通上必要などには道路照明ということで付けられるが、防犯の目的ということでは付けられないという話を会議の中でいただいたところである。それを受け、今後は道路管理者と引き

続き協議をするとともに自治会に町内で付ける防犯灯の設置ということで協議を進めるということで回答している。

ちなみに道下議員が国土交通省に保護者と一緒に陳情に行かれ、1箇所だけ付けていただけるような話が進んでいると伺っている。

2枚めくっていただいて平成28年12月13日付で、こちらは雲雀丘小学校「落石注意」通学路安全確保についてということで請願をいただいている。

主な陳情内容が、落石防止ネットが設置されているものの、中に石が溜まって危険な状態ではないかということ。それから2番目に二中のテニスコート前の辺りだが、この路線については幅員が狭いということ。3点目は方塊という土砂崩れがあったところに応急対策としてコンクリートの塊を置いているが、こちらの安全対策をしてほしいということ。こうしたところの通学路の在り方についてという様な4つのところを問われていた。

この中で、落石防止ネットについては都市建設部に問い合わせをし、今後、随時維持補修を行うといった回答をしている。

その次のページにカラーで地図があるが、右側に「青川長見線」と赤い路線がある。上から見ていただくと「方塊」と赤く囲んであるところがある。次に青い線で雲雀丘小学校の正門に向かう通学路が書いてある。その下に「落石防止網」というところがある。その下にまた落石防止網があり、ずっと下の方を見ていただいてテニスコートの近くにガードレールがある。

上の方から言うと方塊のところはコンクリート擁壁のような構造物を計画しているということ、それから落石防止ネットについては随時維持補修を行うということ、ガードレールのところについては拡幅可能と思われるので今後の検討にしたいと回答させていただいた。

地図を見ながら通学路の様子を説明する。地図の上の方の青川長見線、瀬戸見方面になるが、瀬戸見方面から雲雀丘小学校に通う生徒が約5名、それから下の方、テニスコートのずっと先の方の原井方面から通う生徒が5名いる。原井方面から通う生徒については、平成23年度から通学路を変更して、○でア、キ、カ、オ、コと二中の校地内を一旦通り、それから市道を通って校門側ではない通学路に変更している。

山根課長

瀬戸見方面から通う生徒も約5名いるが、来年1月から国道9号線を通る様な通学路に変更すると学校から保護者へ説明している。今は青い道を通り、ちょうど青い道の三叉路にあたる場所に生徒がいるということ、それからあと何人か中央の雲雀丘県職員宿舎と書いてある辺りに住宅地があるが、そちらと合わせて約3名の生徒が正門から通学している。こちらについてはそのままになるが、いわゆる危険箇所と思われるところについては通学路を変更するという事で対応すると回答した。

ただ、議員からは、通学路を変更する様な、いわゆる正門であるところを通らずに通学するようなやり方が良いのかどうかということを言われたところである。

平成28年度 人づくり・郷づくり交流会(抜粋)(資料7)

昨年、一昨年まで各自治区の公民館事業、持ち回りで研修交流会を開催していた。昨年は県が別の交流会を実施したので1年休んでいる。この度また新たに、各自治区の持ち回りということではなく、人づくり・郷づくり交流会というものを前回開催していたように継続をして実施する研修会である。

今回の研修会の特徴は、各公民館の問題解決支援事業、これは以前からだが県の事業もあり、浜田市も実施している。そういったことの事例発表などをして、それを検証していくということである。

また、もう1点については、まちづくり関係部署と一緒に、この部署は毎年まちづくりフォーラムというものを開催しているのでそちらも合同で開催し、これからの公民館とまちづくりの関係というものを色々と考えていこうということにしている。

この度はアドバイザーということで日本福祉大学の地域連携アドバイザーの長畑実先生にずっと実行委員会から携わっていただいております、進めていきたいと思っている。

委員方にもご案内させていただくので、よろしく願いしたい。2月5日(日)9時45分から16時15分を予定している。会場は前回同様、いわみーるの体育室である。

第25回浜田一益田間駅伝競走大会(しおかぜ駅伝)の結果(資料8)

第25回浜田一益田間駅伝競走大会しおかぜ駅伝が開催された。今回は、昨年42チームのところ邇摩のチームが出場され

なかったため 41 チームの参加となった。しかも、開通前の浜田三隅道路の一部を走路として使用させていただき、何点か走路を変更したことで距離も 700m 短くなり、42.195 km に満たないコースとなっている。

来年については、浜田三隅道路ができた関係で交通の関係があるので、また若干コースを変更させていただく予定になっている。

結果については、先ほどからも出ているが、浜田市内関係のチームの結果を載せている。それから区間賞あるいはホープ賞等でかなり浜田チームからも受賞してそれぞれのチームにおいても健闘している。

高校総体だより（資料 9）

すでに委員方には送付させていただいているが、高校総体の体操競技について報告させていただく。

8 月に開催された高校総体だが、多くの皆様のご支援・ご協力のもと、おかげ様で無事終了した。先般 11 月 8 日に浜田市実行委員会第 4 回総会を開催し、事業実績決算見込みについて承認をいただいたところである。

資料として配布している高校総体だよりだが、表の浜田商業高校郷土芸能部による歓迎アトラクションをはじめとして、浜田高校男女チームの活躍の様子、それから高校生活動の状況。裏面には入賞上位の結果と表彰式について写真を中心に掲載している。

浜田市実行委員会には、全国高体連から感謝状をいただいたところである。その中でも、とりわけ浜田地区内の高校及び特別支援学校の生徒による準備から PR 段階、そして大会期間中の競技会場、サブ会場、練習会場、駐車場案内業務等の活動において、元気のいい挨拶や清々しい対応、きびきびとした動きについて多くの方々から非常に高い評価をいただいている。大変感謝している。

先ほどの教育長日程にもあったが、関連する 9 つの支援等には先般実行委員長名の感謝状を教育長・部長に贈呈させていただいたところである。

今後残っている支払い手続きが終わった時点で実行委員会を解散してすべての業務を終了する。大変お世話になった。資料のないところで報告はあるか。

石本教育長

各課長
石本教育長

特になし。
今報告事項があつたが、委員方から質問等はあるか。

森脇課長

質疑応答

補足である。先ほどの資料 6、雲雀丘小学校の通学路のカラーの地図をもう一度ご覧いただきたい。通学路を変更した理由だが、この方塊や落石注意の危険箇所があるからではなく、ゆうひパークから市道を下ってくる側道的な道があるが、こちらを通るとちょうど通学時間に車が多いということがあり、それが危険なため通学路を変更したということが学校の主な理由である。

それともう 1 点、先ほど今現在の通学路、○で書いてあるア、キ、カ、オ、コと説明した。議員からは、この中でア、キ、カのところからク、ケ、コと行けば近いのではないか、なぜこちらを通らないのかということと提案もあつたところである。これについては二中の校地内を通過して、ちょうどここが二中の登校時に保護者が車で送ってくる時に車の通るところ、それからちょうど U ターンするところにあたりたりするので子どもが通るのに危ないということで、こちらは避ける方が良いということになっている。そういう理由から通学路を変更している。

藤本委員

請願のお話があつたが、西村町の街灯云々とあるが、街灯と防犯灯とあり、当然区別してあるが、防犯灯の場合は設置した人が電気料を払うことになっている。LED にすると半額くらいになる。私の地域でも全部 LED にしたが半額くらいになっている。そうすると結構負担も少なくて済む。街灯について先ほど課長も言われた様に、例えば十字路であるとか、国交省が設置するのでそういう拠点的なところでないと、どこでもかしこでも街灯設置することはできないので、防犯灯という方向しかない。それも地域の方が中々負担しかねるということであればまた難しいのかなと思うが、その辺に期待するのが一番良いのかなと思った。

森脇課長

防犯灯と街灯には区別がなく、国交省がされるのは道路照明である。あとは街灯や防犯灯ということで町内が付けられるものがあるが、町内が自分のところで市に補助金の申請をされて設置をするということで、言われる様に LED にすると、私の町内でも月に 3,000 円くらいしていたものが年間で 3,000 円くらいになり、画期的に電気代は安くはなる。しかし、ここは通る児童生徒がいる町内と付けたいところの町内が異なっており、以前もそういう

協議をされた様だが、その時は高い電気料の話だったが、どちらが負担するかということでもうまく調整ができなかったと聞いている。

また言われる様に今回電気料が安くなるのでお願いしたいという話をして受けていただければ、何方所か設置ができるのではないかと期待して話をしていきたいと思っている。

藤本委員

私たちのところは、集落で付けられるところは付けてもらって、そうでないところは空くので、それは自治会として設置をして電気料を自治会で負担しようということに繋がった。そういう理論がいけるのかはまた分からないが、そういうことも前例としてはあるということである。

森脇課長

ここを通るところの大部分が陽光台に新しく住まれている方で、既存の町内会と十分な連携がまだない方もいるのではないかといいところもある。

石本教育長

資料7の関係だが、昔の公民館の研修会の新しいバージョンであるということか。委員方にご出席いただくということだが、またご案内をお願いします。

山根課長

承知した。

花田委員

人づくり・郷づくり交流会でまちづくりと公民館とが繋がったということは、私はすごいことだと思っている、とても期待しているところである。この会に向かっていくにあたって進めているのはどちらが主体になるのか。

山根課長

一応主体は浜田市公民館連絡協議会が主となって進めている。ただ、これからはまちづくりのための公民館なので、そういったことでもこちら側から待ってられないので主体的となって進めていきたいと思っている。

花田委員

一緒にというか、お客様の感覚になっているのか。

山根課長

そうではなく一緒に進めていくということである。

藤本委員

まちづくり推進協議会というものは大体どこでもあると思うが、悩ましいところが1つある。公民館と自治会とまちづくり推進委員会と名称が色々あるが、ここの絡みが中々整理できていないところが結構あるのではないかと思う。今3つ組織があり、組織の人が皆違うのかと思えば同じ人が両方にかかっていたり、あっちに行ったりこっちに行ったり動いてばかりおられて基本的なところが整理されていないように思っている。

私もどういう方向が正しいのか問われると中々答えづらい部

分があるが、浜田市の金城町のあるところではそれを少し整理して見直されたという例を1つだけ知っているところがある。そういう動きはまだ他にはないのか。今3つあるのでそれを2つにするとか。1つは無理かもしれないが。そういったことは把握されているか。

山根課長

大体まちづくりも公民館との関係ということで承知をしているが、自治区によって全然形というか関わり方が違ってきており、まちづくりイコール公民館というところもある。中々表面的にはうまくいっている様に見えても実は非常に難しいような状況になっていたり、そういったことがあると思う。

そのあたりもこの研修会で実態がどうであって、こういうふうな方向でいきたいといった話があれば良いなと思っている。

藤本委員

特に地域連携アドバイザーの長畑実先生だが、この方はおそらくそういう紛らわしい、重なった様な状態で地域が動いているということもたぶんご存知だと思う。そうすると、その辺のお話もしていただいた方が聞く人からすると少し整理できるのかなと思う。

石本教育長

長畑先生は以前も浜田に来られて話をされている。浜田の状況については一応知っておられるということか。

山根課長

そうである。いつもすごく研究をしておられる。まずデータから入ったすごい資料を作っていただき、講演をいただいている。

石本教育長

期待をしている。

花田委員

17日(土)に浜田に来られて、社会教育委員の話を聞いておられた。中央図書館に来られていた。

石本教育長

その前ももう1回来ておられると思う。

山根課長

社会教育委員が図書館について研究をしておられるので、その辺の関係のアドバイスというか、お話もしていただいた。

石本教育長

今回はまちづくりではなく図書館のことで来られたのか。

山根課長

午前中は図書館のことで、午後からはまちづくりのことで来ていただいた。

金本委員

山口大学にもおられた。

山根課長

今年度から今の福祉大学に変わられた。

4 その他

(1) 浜田市行財政改革実施計画について(資料10)

小林係長

まず 1 ページに趣旨が書いてある。行財政改革実施計画は平成 27 年 11 月に策定した「浜田市行財政改革大綱」に掲げる具体的テーマの実現に向けた計画書として位置づけられている。前回まで、平成 27 年度までの実施計画があったが、それを受けて新たに 28 年度から 33 年度までの 6 年間で計画をしたものである。

先ほど申し上げた大綱についてだが、皆さんにはお配りしていないが大綱の位置づけ、基本的な考え方を簡単に説明すると、浜田市行財政改革大綱については人・モノ・金を最大限有効活用を図ることにより平成 26 年度中期財政計画に示されている実質単年度収支の赤字を解消し、身の丈に合った行政運営を目指すということで、現状が少し身の丈に合わない様な財政規模になっているということの裏返しだろうが、まずは身の丈に合った行政運営を目指すため、これはすなわち将来の浜田市のためにこういった行財政改革を行うということで、その具体的なテーマが実施計画ということになる。

ちなみに大綱には、行財政改革のイメージとして 2 つのテーマを掲げている。1 つが将来を見据えた行政サービスの再構築、もう 1 つが持続可能な財務体質への転換ということで、この 2 つのテーマに基づいて実施計画が作られている。

それでは資料に戻って説明する。

2、3 ページをご覧ください。先ほどの 2 つのテーマのうちの 1 つ、将来を見据えた行政サービスの構築、これはスリムな行政の構築という柱と市民との協働によるまちづくりの 2 つの柱があるが、教育委員会関係については 3 ページの 34 番、浜田市教育文化振興事業団のあり方見直しということで、スリムな行政の構築の観点からこういった項目を挙げている。

次に 5 ページをご覧ください。大綱のもう 1 つのテーマ、持続可能な財務体質への転換、これも 2 つの柱があるが、そのうちの 1 つの公共施設マネジメントに 5 項目ほどある。15 番から 19 番、学校給食施設の統合、公立幼稚園の統合、運動施設のあり方検討、世界こども美術館、石正美術館及び石中央文化ホールの管理運営費の見直し、青少年サポートセンターの管理運営費の見直し。この 5 つを主に施設の観点から改革を行うこととしている。

なおここには挙げていないが、平成 27 年度までの行財政改革

実施計画には学校統合の関係について言及していた。しかし皆さんご承知の様に、行財政改革の観点からの検討も必要ではあるが、それが主眼になって学校施設の統合をすべきではないという教育委員会の考えがあったので、そこについては敢えて行革実施計画には掲載をしないということでお願いをし、載っていないということである。

行革の観点は忘れないまでも、こことは別の動き方をしていくということで、行革では学校統合は考えないということである。

ちなみに公立幼稚園についてはこの観点を脱却することが中々できず、ここに挙がってきている。

具体的に個別の説明を簡単にする。

まず 24 ページの 1- (1) -34、浜田市教育文化振興事業団のあり方見直しということで、これは元々が行政のスリム化の一環ということなので、現在事業団が担っている役割、この部分が将来の浜田市にとって適正かどうかという観点から見直しをしていくということで考えている。

例えば、すでに行っている部分もあるが、サンビレッジ浜田の管理運営については、後ほど出るスポーツ施設のあり方のこともあるが、指定管理でいうと、公募を取る形により事業団の指定管理が外れていた。公募、民間事業者でも管理をできるという観点からそういった縮小、スリム化を進めていくということである。これは組織のスリム化という観点から取り上げている。

次に 46 ページの 2- (1) -15、学校給食施設の統合についてである。これは前回の行革の計画から引き続きということで中々進んでいないというところもあり、取組内容にある様に食育や食物アレルギー対応、その他の懸案事項や研究項目があるので、こういったところを解決した上で統合、あるべき姿に持っていく統合ということで具体的な施設数をどうするかということは今後の検討課題ということにしている。

次に 46 ページ下 2- (1) -16、公立幼稚園の統合について。これについては運営の効率化ということが 1 番大きくある。ただそこに効率化、集約化することによっていわゆる保育の質の向上や行政サービスの向上を図るための統合という位置づけもしている。これは具体的に 33 年度に 3 園にするということで計画

を挙げているが、現時点ではこれが延びそうだという見込みになっている。

次に 47 ページ、2- (1) -17 運動施設のあり方検討についてである。現在スポーツ推進審議会において議論を重ねられているが、市内の類似施設の重複等の適正な配置やあり方について検討していくということで、審議会の答申を受けて計画を策定、その後統廃合移設等を実施していくという流れになっている。

その下 2- (1) -18 世界こども美術館、石正美術館及び石中央文化ホールの管理運営費の見直しについてである。この 3 施設については、毎年 1 億 6 千万円前後の指定管理料・補助金が投入されており、経常的な赤字となっている施設である。抜本的な対策がとられておらず、原因の解明や指定管理料、補助金が適正なものなのかを検証する意味から行革に挙げられている。

これは施設の管理運営の観点から挙がってきており、最終的には事業団のあり方見直しにも絡んで出てくるが、指定管理者の公募なども検討を行って施設管理を適切、効率的に行うということを目的にしている。これについても具体的なことはまだ決まっていないが、前回のところであった施設の集約化、管理の一元化も絡んでくるので、事業団の管理施設ということでここも影響が出てくる。運動施設については一元化することによりこういった改革見直しを進めていくといった意図がある。

次に 48 ページ、2- (1) -19 青少年サポートセンターの管理運営費の見直しについてである。これは、計画策定当時はいわゆる借地借家の状態で、現在もそうだが、これを市の施設に入り、管理運営費を減らすという目的にしている。

これについては、旧警察庁舎が将来的には浜田市の施設ということになるので、借上げ料が 0 となる見込みで現在のところ最も効果が出ているということになっている。

基本的には、今回の行革実施計画についてはこういった観点で 6 項目について提示をしている。こういった計画計上等も踏まえて前回あった様な施設の管理の一元化等を進めていくということになっているので、委員方への説明が遅くなったがご理解いただければと思うのでよろしくお願ひしたい。

石本教育長

事務局から説明があった様に、浜田市の行財政改革実施計画の中で、教育委員会に関わる項目が 6 項目ある。それぞれ事務局で資料を作成してこの計画の中に盛り込んでいる。本当は委

員方に早めにこういったことをご紹介しながら計画を策定するというをしなくてはいけなかったが、大変遅くなった。ということで進んでいるので、また変更等があれば随時説明をしていきたいと思っている。本日は説明だけということだが、また何かあれば事務局へ問い合わせいただけたらと思う。

(2) 浜田市 PTA 連合会と教育委員との意見交換会日程について

小林係長

以前日程の照会をさせていただいた表題の意見交換会についてだが、日時が決まったのでお知らせさせていただく。

1月20日(金)の15時から、場所は青少年サポートセンター会議室を予定している。出席をよろしくお願いしたい。

現在市P連側の出席者、大体正副会長で5名程度である。テーマについても投げかけをして、早く出れば委員方に事前にお知らせをしたいと思っている。

石本教育長

PTA連合会が5名くらいか。

小林係長

大体同数が良いだろうということで5名くらいである。

石本教育長

役員は10名くらいおられるだろうが、そのうちの5名ということか。

小林係長

そうである。

石本教育長

1月20日(金)15時からということで日程が決まっている様である。会場も旧浜田警察署のところにある青少年サポートセンターの会議室ということなので、日程の調整をよろしくお願いしたい。

委員方から何かあるか。

金本委員

PTA連合会のテーマは何になるのか。

小林係長

テーマはPTA連合会から委員方にお聞きしたいことや、意見交換したい内容をいただくという形で行うので、まだそれが決まっていはいない。

石本教育長

決まった段階で早めに連絡をする。

小林係長

今のところまだ決まっていはいない。

石本教育長

また決まったらご連絡をさせていただく。

何か教育委員会関係で気になることがあれば。

各委員

特になし。

次回定例会日程

定例会 1月26日(木) 13時30分から 市役所講堂 AB

15:13 終了

浜田市教育委員会会議規則第18条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名者

教育長 _____

教育委員 _____

教育委員 _____

教育委員 _____

教育委員 _____

会議録調製者 _____